



小学校高学年～中学生向け 年組

196

2024年1月28日付・下野新聞7面

記事は加工しています

ラーメン 日本一争い

日本一のラーメン市はどっち。総務省が毎年2月に発表する前年の家計調査で、今回も山形市と新潟市がラーメン支出額日本一の座を争った。2022年までの10年間は山形の9勝1敗。ただ新潟は21年に日本一になっており、互いに認めるライバルだ。両市とも店舗横断の取り組みで盛り上げていく。

一番の味があるわけではない。辛みそや昔ながらの中華そば、山形市が発祥とされる「冷やしラーメン」などさまざまな味を楽しめる。多様性が消費の多さにつながっているとの見方もある。

21年の王座陥落をきっかけに発足した『ラーメンの聖地・山形市』を創る協議会には、麺や具材を扱う業者も含め約150店が参加している。昨年12月の総会

ラーメン支出額日本一を争う2市

山形市		新潟市	
	約24万2000人	人口	約77万2000人
A	辛みそ、昔ながらの中華そばなど	ラーメンの味の特徴	濃厚みそ、あっさりしょうゆなど
C	協議会設置。官民一体で「山ラー」をアピール	主な取り組み	地元の唐辛子を使った鬼ラーメンプロジェクト
	9回	過去10年間の日本一	1回(21年)

山形市 VS 新潟市

り上げようと頑張った」と強調した。

一方、新潟も消費拡大に力を入れる。味は山形と同じくみそ、しょうゆなど種類が多く、県としてはカレー味なども加え「新潟五大ラーメン」と呼ばれている。

昨年9月からは、新潟市内の唐辛子製造会社がつくった激辛の「鬼殺し」を使った商品を、各店がそれぞれで出す「鬼ラーメンプロジェクト」を始めた。年

在地と政令市を対象に、2人以上世帯並みの支出額を比較する。山形側による昨年11月までの集計では、首位は山形で1万5624円、2位の新潟は1万3808円。3位以下は仙台市、富山市、宇都宮市と続く。

山形市ブランド戦略課の高橋大課長は「新潟市と競い合い、互いの地域活性化につなげたい。でも勝つのは山形市だ」と自信をのぞ

盛り上がる地元火花

毎年2月、支出額調査発表

では、同年に聖地宣言をし、2月8日を毎年「山形市ラーメンの日」にして消費拡大を目指すとして、22年市も連携しており、22年度はPR活動を後押しするため2300万円の補正予算を計上。各店が軒先に立てる「山ラー」の赤いのぼりはこの予算で作られている。ラーメン店「麺辰」を営む協議会会長の鈴木敏彦さん(47)は「店や業者、行政が一丸となって市を盛り上げたい」と話した。

2月6日に発表される総務省調査は、都道府県庁所

末までに計り千杯近く出たラーメンの日にして消費プロジェクトは、新潟のラーメン熱を高めたいと三条市の神職三上正行さん(45)が企画。知人らへのアンケートで「辛い味が食べたい」との声が多かったため持ちかけた。三上さんは「行政や市民に関心を持ってほしい。流れをつくらせてほしい」と話した。